

2011年8月1日～2026年6月30日の間に札幌医科大学附属病院

眼科において眼内レンズ脱臼・亜脱臼・落下と診断され眼内レンズ摘出の治療を受けられた方へ

—「白内障術後の眼内レンズ脱臼で札幌医科大学附属病院を受診し、当院で眼内レンズ摘出術を施行された患者背景に関する研究」へご協力をお願い—

研究機関名 札幌医科大学附属病院

研究機関長 病院長 渡辺敦

研究責任者 札幌医科大学附属病院 眼科 教授 横田陽匡

研究分担者 札幌医科大学附属病院 眼科 診療医 大原成喜

1. 研究の概要

1) 研究の目的

当院において眼内レンズ脱臼・亜脱臼・落下と診断され眼内レンズ摘出の治療を受けられた方の背景を調べて、眼内レンズ挿入から摘出までの期間との関係を検討することがこの研究の目的です

2) 研究の意義・医学上の貢献

これまで当院眼科で眼内レンズ摘出の治療を受けられた方の背景を把握する事により、今後の眼内レンズ脱臼の危険因子を検討することが可能です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2011年8月1日～2026年6月30日の間に当院において入院にて硝子体手術（眼内レンズ摘出術）を受けられた方が研究対象者です。

2) 研究期間

病院長承認後～2027年7月31日

3) 予定症例数

100人を予定しています。

4) 研究方法

2011年8月1日～2026年6月30日の間に当院において入院にて硝子体手術（眼内レンズ摘出術）を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに患者背景のデータを選び、眼内レンズ挿入から摘出までの期間に関係する因子と眼内レンズ脱臼の程度について調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用するのは、当院のカルテに記載されている情報の中から以下の項目を抽出し使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢、性別、診断名、アトピー性皮膚炎の有無、外傷歴の有無、落屑症候群の有無
- ・視力、眼軸
- ・眼科診療録（眼内レンズ脱臼の程度、当院での眼内レンズ挿入日、眼内レンズ摘出日、手術記録）
- ・診療情報提供書（他院での眼内レンズ挿入日）

6) 情報の利用開始予定日

試料・情報の利用を開始する予定日は、2027年1月1日です。ただし、研究の参加について拒否の申し出があった方のデータは研究最終解析では利用しません。研究の途中経過の報告ではその時点までに拒

否の申し出がなかった方のデータのみを用いて発表する事があります。

7) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後、研究完了（中止）報告書を提出した日から5年が経過した日までの間、札幌医科大学眼科学講座の第1研究室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で管理・制御されたコンピューターに保存します。その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

なお、この研究に使用した情報を将来の別の研究に利用する可能性はありません。

情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

札幌医科大学附属病院 病院長 渡辺敦

8) 研究結果の公表

この研究の結果は学会や論文で発表します。その際も氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータは一切含まないようにします。

9) 研究に関する問い合わせ等

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究に使用しませんので、2026年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。お申し出をいただいた時点で、研究に用いないように手続をして、研究に用いられることはありません。この場合も、その後の診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。ご連絡頂いた時点が上記お問い合わせ期間を過ぎていて、あなたを特定できる情報がすでに削除されて研究が実施されている場合や、個人が特定できない形ですでに研究結果が学術論文などに公表されている場合は、解析結果からあなたに関する情報を取り除くことができないので、その点はご了承下さい。

<問い合わせ・連絡先>

札幌医科大学附属病院 眼科

氏名：大原成喜

電話：011-611-2111 内線 34540（平日：9時00分～15時00分）

011-611-2111 内線 39040（夜間、休日、時間外）

ファックス：011-613-6575

電子メールアドレス：ohara.n@sapmed.ac.jp